

みずほCustomer Desk Report 2017/03/31 号(As of 2017/03/30)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.15	1.0759	119.57	0.9968	1.2439	0.7670
SYD-NY High	111.94	1.0772	119.84	1.0016	1.2526	0.7679
SYD-NY Low	110.94	1.0672	119.09	0.9950	1.2403	0.7639
NY 5:00 PM	111.94	1.0675	119.43	1.0011	1.2465	0.7639
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.575/9.3		△25RR	1.123	Yen Call Over	

NY DOW	20,728.49	69.17	債券市場	日本2年債	-0.2280	1.8bp
NASDAQ	5,914.34	16.80		日本10年債	0.0680	1.0bp
S&P	2,368.06	6.93		米国2年債	1.2818	1.2bp
日経平均	19,063.22	▲154.26		米国5年債	1.9640	3.8bp
TOPIX	1,527.59	▲14.48		米国10年債	2.4197	4.3bp
シカゴ日経先物	19,250	30.00	為替市況	独10年債	0.3330	▲1.1bp
ロンドンFT	7,369.52	▲4.20		英10年債	1.1210	▲2.9bp
DAX	12,256.43	53.43		豪10年債	2.6900	▲3.2bp
ハンセン指数	24,301.09	▲90.96		USD/CNH	6.8841	0.0173
上海総合	3,210.24	▲31.08		ドルインデックス	100.41	0.41
USDJPY 3M Vol	9.52	▲0.04%	商品市況	CRB指数	185.520	0.31
USDJPY 6M Vol	9.48	▲0.08%		NY金	1,248.00	▲8.80
EURJPY 3M Vol	11.11	▲0.19%		WTI	50.35	0.84
EURJPY 6M Vol	10.57	▲0.20%		Dubai Spot	50.48	0.34

東京	朝方に本邦対内・対外証券投資の結果が発表されるも市場の反応は限定的となり東京時間のドル円は111.15レベルでオープン。この日は五・十日に当たり本邦実需勢によるドル買い期待等を背景に仲値にかけて一時111.43まで上昇。買い一巡後は特段の新規材料ない中111.30近辺での方向感に欠ける推移となった。なお、岩田日銀副総裁の「現行の長短金利操作付き量的・質的金融緩和の推進で物価2%の実現は可能」、「金融緩和手段として米国債を購入する必要」との発言が伝わったが目立った反応は見られなかった。その後日経平均株価が下落幅を拡大する動きとなるとドル円も連れ安となり一時111.09まで下落した後、111.16レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.16レベルでオープンすると、目立った材料のない中で一時111円割れまで円高が進行する局面が見られたものの、その後は戻し、111.15レベルとオープンと同水準でNYに渡った。ポンドドルは1.2433レベルでオープン、英国のEU離脱に関連するヘッドラインは断続的に続いており、英国が求められるEUへの支払いが予想よりも少なく済むとの報道もありポンドは上昇し、1.2465レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.0758レベルでオープン。独3月消費者物価指数の結果が弱い結果となったこと等からユーロ売り優勢の展開となり、1.0737レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルリー - 00531 444 179 宛)
ニューヨーク	海外市場は111円台前半での方向感に欠く推移となり111.15レベルでNYオープン。朝方発表された米第4Q・GDP(確報値)が2次速報値から0.2%上方改定され、市場予想も上回ったことからドル買いが強まり111.54まで上昇。その後トランプ大統領は為替操作国に対するペナルティを検討している」とのヘッドラインを受けてトランプ政権によるドル高牽制措置への懸念が高まり安値111.00まで急落。しかし、先般のオバマケア代替法案廃案を受けて、トランプ政権の実行力に対する懐疑的な見方も強まっているため、この発言を受けたドル売りも長くは続かず、その後ドル円は反発。OPEC主導の協調減産延長への期待感からWTI原油相場が約3週間ぶりに50ドル台を回復する動きや、米金利の上昇基調を背景に、朝方つけた111.54を上抜けると短期筋のショートカバーも相俟って高値111.94まで一本調子で上昇し、高値引け。なお、カラン・ダラス連銀総裁(2017年投票権あり)、グドリー・NY連銀総裁(2017年投票権あり)の講演では、特段目新しい発言はみられず。一方ユーロドルは1.0737レベルでNYオープン。米金利の上昇を受けてドル買いが強まったことや、ユーロポンドの下落をうけてユーロドルはサポートであった1.0700下抜け1.0672まで下落し、1.0675レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:大熊・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月30日	8:50	対内・対外証券投資	-	-
	18:00	消費者信頼感・確報値	3月 -5.0	-5.0
	21:00	消費者物価指数・速報値(前月比/前年比)	3月 0.2%/1.6%	0.4%/1.8%
	21:30	GDP・確報値(年率/前期比)	第4Q 2.1%	2.0%
	21:30	個人消費・確報値	第4Q 3.5%	3.0%
	21:30	コアPCE(前期比)・確報値	第4Q 1.3%	1.2%
	21:30	新規失業保険申請件数	- 258K	247K
	22:45	メスター・クレーブランド連銀総裁講演	-	-
3月31日	0:00	カラン・ダラス連銀総裁講演	-	-
	5:30	グドリー・NY連銀総裁講演	-	-

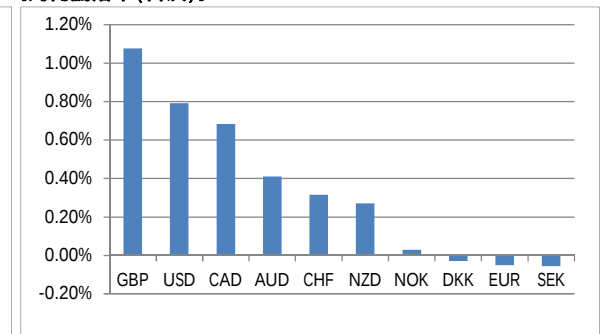
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月31日	8:30	失業率/有効求人倍率	2月 3.0%/1.44	3.0%/1.43
	8:30	CPI/コア/コアコア(前年比)	2月 0.2%/0.2%/0.1%	0.4%/0.1%/0.2%
	10:00	製造業PMI/非製造業PMI	3月 51.7/-	51.6/54.2
	17:30	GDP・確報値(前期比/前年比)	第4Q 0.7%/2.0%	0.7%/2.0%
	18:00	CPI予想/CPIコア(前年比)	3月 1.8%/0.8%	2.0%/0.9%
	21:30	個人所得/個人支出(前月比)	2月 0.4%/0.2%	0.4%/0.2%
	21:30	PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	2月 0.2%/1.7%	0.3%/1.7%
	23:00	ミシガン大学消費者信頼感・確報値	3月 97.6	97.6
	23:00	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.30-112.30	1.0600-1.0750	118.50-120.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は、堅調な値動きとなった。米10 - 12月期GDP確定値が上方修正され、市場予想を上回った。GDPの7割を占める個人消費が0.5ポイント上方修正されたことが、堅調な米景気を示唆する内容として好感されドル/円は上昇、米国株の堅調な動きや、米10年債利回りが2.4%に乗せたこともドルを後押しし、111.94円まで上昇した。本日は、上値の重い展開を予想する。経済指標は良好な結果となり、米国株や米長期金利が堅調だったにもかかわらず、ドル/円は112円台手前で押し返され、上値の重さが確認された。トランプ政権の政策運営に対する懸念は払拭されておらず、また、ドル高牽制措置への懸念も意識されている為、本日は上値の重い展開になると予想する。